

本質的な問い つながりとは何だろう。（人・過去・未来）

単元名 みんなを守る つながろう天応 ～避難所の知識～

児童生徒の実態

- ・防災について、これまで継続して学んできた。
- ・地域のために貢献しようという意欲がある。
- ・自他を尊重、粘り強く挑戦し続けることに課題がある。
- ・失敗を恐れず粘り強く、いろいろなことにチャレンジする児童 89%



目指す具体の姿（育成を目指す資質・能力）

- ・避難しない人について考える活動を通して、様々な人の立場になって考え、自他を尊重する態度を身に付けている。（協調性）
- ・必要な情報を収集したり、取捨選択したりしている。（情報収集力、情報活用力）
- ・自分や地域の人々の命を災害から守る方法について考え、災害に強いまちづくりのために行動しようとしている。（挑戦心）

単元を貫く問い 地域の人々の命を守るためにどんなことができるだろう。
【探究課題 防災のための安全な町づくりとその取組】

【第3次】（20 時間） 課題 地域の人々の命を守るためにはどうすればよいだろう。

個別の問い

- ・災害が起きたときだけではなく、日頃からできることは何だろう。
- ・地域の「つながり」、人の「つながり」を深めるために何ができるだろう。
- ・過去との「つながり」、未来への「つながり」を伝えるために何ができるだろう。
- ・9年生主催の防災フェスに参加する目的は何だろう。
- ・9年生主催の防災フェスに参加する際、どんなブースにすると地域の人々の命を守ることにについて深めることができるだろう。

天応小の児童保護者

地域・保護者

天応に住む高齢者

（しかけ）

- ・地域の人々の命を守るためのテーマを決め、それを中心に考えるようにする。
- ・9年生主催の防災フェスで1ブースを設け、地域の防災力を深める目的で運営を行う。

【第2次】（19 時間） 課題 なぜ避難しない人がいるのだろう。

個別の問い

- ・避難レベル3～4になったとき、皆さんは避難したか。なぜ、避難しなかったのか。
- ・避難所の運営の人や市は、避難者にとって少しでも安心できる避難生活となる工夫をしていないのだろうか。
- ・避難所や市はどのような工夫・思いがあるのか。
- ・避難しない選択をするにはどのような情報を知ると良いか。
- ・避難したいけれど、不安がある人たちにとって、どのような避難所だと避難しようと思えるだろうか。

復興総室、危機管理課

地域ボランティア団体「つなごう@天応」

（しかけ）

- ・災害時にどのような行動をする人がいるかを考える中で、様々な人の立場を考えるようにする。
- ・より安心感のある避難所を考えるために、保護者の避難所に対する意識アンケートを作成し実施する。

【第1次】（16 時間） 課題 天応にはどんな避難所があるのだろう。

個別の問い

- ・災害時の自分の避難経路を知っているか。
- ・もし、想定している避難場所が使えない、行けない場合はどうするか。
- ・天応には、いくつの避難所があるか。
- ・避難場所にはどんなものがあるのか。また、どんなものがあるとよいか。

保護者アンケート

（しかけ）

- ・西日本豪雨の時の様子を見せたり、子供たちの知っていることを発表できるようにしたりする事で関心を高める。
- ・誰に伝えたいか、伝えるべきかを考えるようにする。

3サイクル 「地域の人を守るためには、どうすればよいだろう。」

【課題の設定】
・防災フェスでのブースの内容の決定

- ・地域の人みんなが自分の命を守ることができるようにするには、どうする？
- ・動画で紹介？クイズをする？
- ・理想の避難所を紹介する？劇？紙芝居？

【まとめ・表現】
動画やクイズ、理想の避難所の発表で地域に呼びかけ



- ・前は避難所や避難経路ばかり考えていたけれど、今は、そのために何が本当にできるのかを考えるようになった。
- ・災害の種類によってどこに避難するか考えるようになった。
- ・人前で話すことに自信がついた。
- ・家でも防災を意識して防災グッズを用意しようと思う。

地域の人にも命を守ってもらうために

自分たちができることは？

協調性 挑戦心 情報収集力

防災フェスのブースをもらい、紹介

【情報の収集】
他学年のブースの見学・体験

- ・9年生の脱出ゲームが面白かった。
- ・スタンプラリーが楽しかった。集めたい。
- ・待ち時間が長い。
- ・ブースを回すときには1回にたくさん回れたらいいね。
- ・自分たちはどんなブースにするといいかな。
- ・身近な物で防災グッズを作った後、持ち帰れてうれしかった。

【整理・分析】
自分たちのブースの見直し

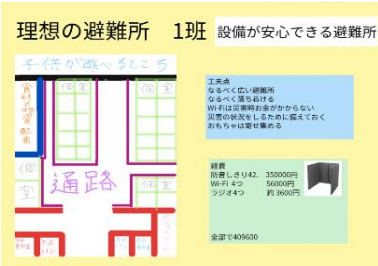
- ・待ち時間が長かったり、説明が分かりにくかったりした。
- ・どうしたらお客さんがスムーズに動けるか。
- ・お客さんの動きを考えていこう。
- ・立つ位置や、差し棒の担当等を決めた方がよい。

2サイクル 「なぜ避難しない人がいるのだろう。」

【課題の設定】
・なぜ避難しないのかを考える。
・自分たちの避難所へのイメージの確認

- ・家が安心するから？
- ・自分の家も避難しなかった。
- ・ここはなんとなく大丈夫かなと思った。
- ・避難した方がよいのでは？

【まとめ・表現】
・避難先の候補になる理想的な避難所のイメージを考える。



自宅避難しか考えていなかったけれど、理想の避難所を考えたり、危機管理課の方の話を聞いたりする中で、避難所に行くことも大切だと感じた。

危機管理課に質問

なぜ避難しない人がいるのだろう

【情報の収集】
・地域の人に向けた、「避難所についてのイメージアンケート」の作成、実施
・危機管理課の方に話を聞く。



【整理・分析】
・アンケートの分析
・避難所の開設方法、関わっている人、費用、避難所の工夫点等の整理・分析
・避難所のイメージがプラスになるための方法の分析

1サイクル 「天応にはどんな避難所があるのだろう。」

【課題の設定】
・天応には、いくつの避難所があるだろう。
・避難所はどんな災害に対応しているだろう。

- ・何箇所あるのだろう？
- ・避難経路はどうか？
- ・避難時には何を持って行く？

【まとめ・表現】
・調べたことを、クイズや地図を用いてクラス全体に発表。



- ・自分の家の近く以外にも避難所があることを初めて知った。
- ・1つの災害にしか対応していない避難所があるけれど大丈夫だろうか。

課題の設定

まずは、実態把握

まとめ・表現

情報の収集

整理・分析

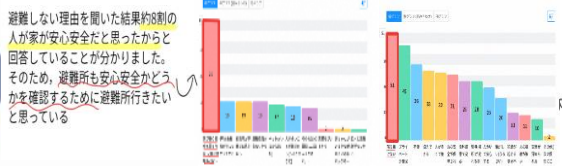
天応にはどんな避難所があるのだろう

【情報の収集】
・それぞれの避難所について、場所、避難経路、対応できる災害等についてインターネットを使って調べる。

- ・場所、避難経路、対応している災害、収容人数等を調べよう。
- ・どんな備蓄があるのかな。
- ・避難所の機能を持つ天応学園の体育館を実際に調べに行こう。

【整理・分析】
・それぞれの避難所の比較

- ・避難所によって、対応している災害に違いがある。
- ・本当に災害が起きて避難する時、避難所の場所や避難経路等、みんな知っているのだろうか。



避難所にどんなイメージを持っているか聞いた結果約半分の人が落ち着けなと回答していることが分かりました。だから本当に落ち着けないのか避難所に行ってみようと思っている